

1 基本情報	
施設名又はグループ名	指定管理者名及び団体概要
文化財庭園グループ	(指定管理者名)公益財団法人 東京都公園協会 (団体の概要)都市緑化の推進、公園や水辺を通じた安らぎとゆとりの提供を目的として設立され、公益目的事業(指定管理者事業を含む)及び収益事業を行う。
指定期間	
H28.4.1 ~ R8.3.31(10年間)	

2 施設名	3 収支(単位:千円)			
浜離宮恩賜庭園、旧芝離宮恩賜庭園、小石川後楽園、六義園、旧岩崎邸庭園、向島百花園、清澄庭園、旧古河庭園、殿ヶ谷戸庭園	項目	令和3年度 金額	令和2年度 金額	公園別支出額
	収入 計	769,910	977,013	浜離宮恩賜庭園：220,540 向島百花園：65,576
	内 指定管理料	619,937	845,826	旧芝離宮恩賜庭園：90,484 清澄庭園：118,584
	内 利用料金	149,973	131,187	小石川後楽園：118,591 旧古河庭園：100,402
	支出 計	990,634	1,270,721	六義園：143,939 殿ヶ谷戸庭園：66,343
	差引	△220,724	△293,708	旧岩崎邸庭園：66,175
	維持管理経費補填相当額	128,514	169,657	
収支差	△92,210	△124,051		

※維持管理経費補填相当額：新型コロナウイルスの影響を受けて生じた維持管理経費の不足等に対して都から支出された金額（金額確定後に左記収支表を更新）

4 管理運営の概要

<基本理念> 首都東京を代表する文化財庭園の価値を高め、未来に継承するとともに、庭園文化の魅力を世界に発信します

- 庭園の価値を高める
 - ・各庭園の価値の向上を図るため、作庭意図や歴史背景を踏まえた質の高い維持管理を実施しました。
 - ・維持管理技術・技能を継承するためのノウハウの蓄積と次世代を担う人材を育成しました。
- 庭園の魅力を向上する
 - ・来園事前予約システム、滞留人数把握システムの導入等、コロナ禍における安全な入園方法の取組みを進めました。
 - ・地域・企業等と連携した新たな取組みの実施や周辺地域と一体となった魅力アップにより、お客様サービス向上の取組を推進しました。
- 庭園文化を世界に発信する
 - ・YouTubeやSNSを駆使し、来園が果たせない国内外の広範囲な利用者に向け、情報発信を行いました。
 - ・首都東京の文化的観光拠点としての役割を担うとともに、おもてなしの心でお客様をお迎えしました。

5 管理状況（維持管理）

【作庭意図や歴史的背景を踏まえた質の高い維持管理】

- ・浜離宮では日々の点検を踏まえて「鷹の御茶屋」の降雨による雨染み対策として、景観に配慮した犬矢来垣を設置し貴重な復元建造物を適切に保全しました。旧芝離宮では大泉水護岸の継続的な補修、昨年度に引き続き「大山」の支障木を伐採したことで、芝山の稜線が繋がり、大泉水周辺の景観を向上させることが出来ました。小石川では、「唐門」、「白糸の滝」の都整備工事後、直管でのきめ細やかな手入れにより、周辺景観の向上をはかることができました。保存管理計画書（保存活用計画）や史資料に基づき、庭園有識者に諮りながら取り組む維持管理により、庭園景観を向上させることができています。
- 【維持管理技術・技能を継承するためのノウハウの蓄積と次世代を担う人材育成】
- ・熟練職員から中堅・若手職員への技術・技能の底上げを図り、庭園維持管理に関する検討会（12回）や庭園技能に関する連絡会（4回）を通じて庭園維持管理のあり方や庭園技能の継承や向上のための検討を重ね、保存管理計画書記載の課題を改善し、庭園独自の技能を伝承する旧芝・旧古河の「ソテツの霜除け」、清澄の「建仁寺垣更新」を「庭園技能伝承研修」（2回）において実施し、各庭園の特徴ある景観を維持するとともに各庭園に共通する庭園技術や庭園毎の個性を際立たせるために考案された特有の手入れ技能について伝承に励みました。

6 利用者アンケート結果

実施方法：庭園内で調査票を配布・回収/QRコード掲示によるWEBアンケート

施設名	総合満足度	植栽管理	施設の清潔さ	安全・安心	職員の対応
浜離宮恩賜庭園	4.8	4.8	4.7	4.9	4.8
旧芝離宮恩賜庭園	5.0	5.0	4.9	5.0	5.0
小石川後楽園	4.8	4.8	4.4	4.7	4.7
六義園	4.9	4.8	4.4	4.9	4.9
旧岩崎邸庭園	4.5	4.2	4.2	4.5	4.5
向島百花園	4.7	4.8	4.7	4.8	4.8
清澄庭園	5.0	4.9	4.8	4.9	4.9
旧古河庭園	4.7	4.8	4.6	4.9	4.9
殿ヶ谷戸庭園	4.9	5.0	4.8	4.9	4.9

7 入園者数の状況（単位：人）

施設名	当該年度	分析
浜離宮恩賜庭園	147,890	ライトアップイベントは船やドローンを使用して、池泉上や空中から撮影・オンライン開催をして、全世界へ魅力発信をすることができました。
旧芝離宮恩賜庭園	42,086	近隣約110施設に連携チラシなどを作成・配布し、マイクロツーリズムの推進を図り、アフターコロナに向けて周辺地域と連携を深めました。
小石川後楽園	109,324	コロナ禍でも「唐門復元1周年記念事業」等、積極的にリアルイベントを安全に開催し、利用者へ満足度の高いプログラムを提供しました。
六義園	187,077	庭師が伝える江戸伝統園芸と伝統技能の魅力をSNSやYouTubeで配信し、新たなファンの獲得と維持管理の重要性や伝統技能への理解を深めました。
旧岩崎邸庭園	50,202	産業労働局と共催の「江戸東京リビング展」や、「館内撮影パッケージ販売」等新規の取組みを行い、利用者サービスを向上させることができました。
向島百花園	37,579	地域の伝統行事を担う庭園として、やむなく中止となった行事も次年度以降に繋がる取組みを行い、サテライト会場で行事の普及啓発を行いました。
清澄庭園	102,168	「アートバラ深川」の実施や、涼亭への初となるスロープの設置等、地域とともに社会貢献を推進し、庭園からのSDGs発信を積極的に行いました。
旧古河庭園	114,784	徹底した感染症対策や安心して来園できる仕組みづくり、メディア誘致の庭園の魅力発信により、安心に裏付けされた集客を図ることに成功しました。
殿ヶ谷戸庭園	39,784	国指定名勝10周年記念イベントをリアルとオンラインのハイブリッド開催により実施するなど、これまでの庭園の維持管理の取組みを発信することができました。
合計	830,894	



浜離宮恩賜庭園

所在地：中央区／開園面積：25.02ha
特別名勝・特別史跡



正統的な維持管理を追求する 潮風薫る徳川将軍家の庭園

初となる和船の使用など本質的な魅力を伝えるイベントを開催

事業計画 No.3-②-35、77、83、129、137 No.4-イ-4 No.4-自-2 / 評価区分 19、31



和装した御台所の園内回遊や舟遊びなどの往時の庭園生活と現存しない幻の島を光で再現！

東京2020オリンピック・パラリンピックの機運向上を目的として、都の政策と連動したイベントを開催しました。コロナ感染症禍のため有観客のイベント中止に伴い、映像だけでもステイホームの夏の夜を満喫して欲しいとの願いを込めてオンラインイベントに変更して実施しました。舟やドローンを使用して**ダイナミックな映像を撮影**。和装女性の園内回遊など往時の庭園生活や、古図に描かれた**現存しない幻の島を光で再現**するなど、**文化財の本質的な魅力を伝えるイベント**を開催できました。また、映像は、新宿駅のデジタルサイネージ、HP、Twitter、YouTube上でも放映、多くのマスメディアから取り上げられ**約50の媒体に掲載**されました。



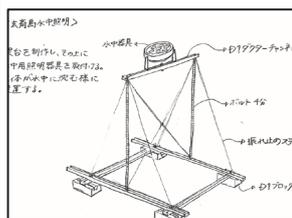
和装した御台所と船頭により、往時の舟遊びを再現



初めて大泉水に和船を搬入



ドローンによる空撮映像



水中ライトで玄斎島を再現



新聞などメディアに取り上げられる

都市の庭園に求められる多様なニーズへの的確な対応

事業計画 No.3-②-1、③-21・22 / 評価区分 30、31、32



地域社会・関係施設からの要請や新規事業への積極的な協力

都市の生活を支える庭園として、庭園に要請された様々なニーズへの対応を行いました。案件により、実施時間の調整や文化財手続きのバックアップなど、文化財庭園の価値や質を損なわないよう、密な調整を図り的確な対応を行いました。①都の政策と連動した事業（隅田川怒涛・パビリオントウキョウ、MPCメディアツアーほか） ②都からの要請への協力（ドローンを活用した食事配送の実証実験、観光客調査数等実態調査、観光タクシー普及にかかわる協力ほか） ③関係機関との連携（消防署機械装備点検、警察署防犯訓練、築地浜離宮自治会ほか）



「パビリオントウキョウ」の開催状況
数カ月にわたるイベント施設設置に協力
(文化財保護や申請、機材搬入の調整など)



文化財の価値を損なうことなく、次世代へ継承する取組

事業計画 No.3-③-44、54 / 評価区分 5

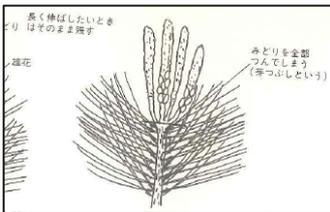


伝統的な手入れに基づく、新芽を残す剪定手法を初めて導入

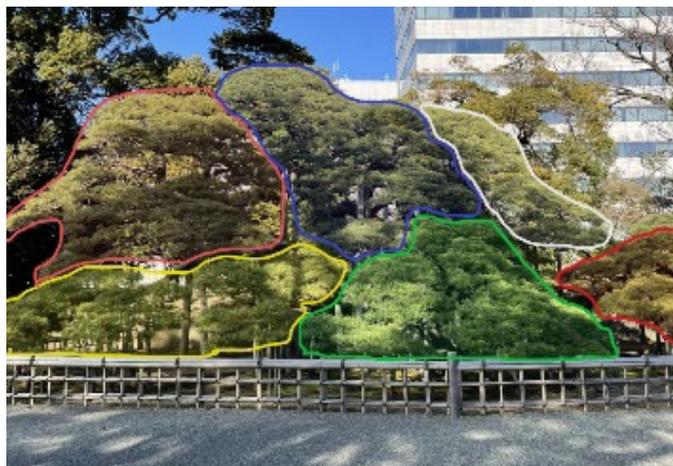
当庭園の本質的な価値を構成する都内最大級のクロマツ「三百年の松」は、きめ細かい手入れを行うため直営職員4人のみで手入れを行っています。本来の美しさを引き出す管理を行うとともに、古木であることから、協会樹木医の診断後、樹木を6分割し分析を行い、伝統的な手入れに基づいた新芽を残す剪定手法を初めて導入。それぞれの新芽や枝ぶりの生育状況を見極めた高度な技術により高いレベルの維持管理を行っています。



樹木医による診断



意図的に一番芽を残す手法を導入



樹木を6分割し生育状況により剪定手法を変える



もみあげで葉量を調整



下から見ると施工手法が分かる

文化財庭園の本質的な価値の充実を図る

事業計画 No.3-③-23、48、49、54 / 評価区分 2、33、35



高品質の修復・雨漏りを改善

劣化が著しい御茶屋（松・鷹）の屋根（柿葺・茅葺）修復を実施。高度な技術を保持する柿葺職人（岡山）茅葺職人（宮城）により質の高い修復を実現しました。



松の御茶屋における柿葺の修復

馬場の観賞ポイントを再生

ぬかるんだ馬場を舗装・高圧洗浄により歩行しやすく改善。遺構をロープ柵で保護するとともに解説板を設置。新たな歴史的な見所を再生することができました。



川砂舗装等により景観・排水機能を改善

水門管理により水質を改善

水門管理方法の見直しにより水質を改善。堰板を20年ぶりに設置し内堀水門を常時開門。水の流出入により鴨場の水質が大幅に改善しました。全リン1.15→0.35 (mg/L)



堰板の新規設置

文化財庭園における高度な維持管理技術力の発揮

事業計画 No.3-③-54 / 評価区分 2



日々の管理の中で課題を発見、意匠を検討し発生材を活用

鷹の御茶屋は雨樋がなく、雨水の飛び跳ね、吹き付けにより内外の壁に雨染みが生じていました。防護策として犬矢来垣を設置。作製にあたっては、建築物の意匠を踏まえ曲線の垣・材は晒竹を採用。礎石や犬走に当たる場所は、高度な技術により現場合わせで加工。直営職員による作製および発生材の再利用により、施工費を大幅に削減することができました。



建物の形状に沿った施工



旧芝離宮恩賜庭園

所在地：港区／開園面積：4.31ha
名勝



伝統の輪を広げる
地域とともに成長する大名庭園

「広がりのある大泉水」の創出

事業計画 No.3-③-23、48／評価区分 5

大山のタブノキ伐採

大山の支障木タブノキを伐採し、築山からの広がりある眺望を創出しました（5ヶ年計画の2年目、平成18年度文化財庭園の支障樹木特定に関する分科会の認定指定樹木）。



大山山頂から大泉水を臨む

株物撤去と芝生地切り下げ

視点場（洋館跡）からの眺望を意識した大泉水周りの修景を行いました。複数年にわたり長期的な計画を着実に実施してきたことで、池の水面を臨むことができるようになり、**より広がりのある大泉水を創出し、当庭園の本質的価値を高めることができました。**



庭園入口（洋館跡）側から大泉水を臨む

景観を意識した文化財保全の取組み

事業計画 No.3-③-23、52／評価区分 35

黒ボク石積護岸補修

黒ボク石積護岸の補修を実施し、**文化財としての衰亡防止と主景観維持に努めました。**

近年の気象災害の甚大化もふまえて工法を検討し、松煙水苔モルタル目地や、水抜きパイプの設置など、景観を保ちながら石積を崩れにくくし、法面の水はけをよくする**技術的な工夫**を行うことにより、より長持ちする護岸を組み、文化財の保全を行いました。

これまで11年継続した取組により、当庭園の主要構成要素である黒ボク石積護岸を**総延長の46%（404.4m）まで補修**しました。



黒ボク石積護岸補修（達磨石）



景観に配慮した水抜きパイプの設置



松煙水苔モルタル目地による擬岩仕上げ



四阿及び周辺の景観と利便性の向上

事業計画 No.3-③-28・55 / 評価区分 35

四阿のベンチと周辺園路広場の補修

庭園の景観に合わない使いづらい固定式ベンチを撤去し、庭園の景観に馴染む利用しやすい縁台を設置しました。

周辺園路広場の雨で流失しやすく草も生えやすい土舗装を**在来工法の二和土舗装**とし、ロープ柵を庭園工作物標準図集に基づき更新、四阿周辺を一体的に改善して利用者の利便性を向上することができました。



補修により景観が向上した四阿とその周辺

伝統技能 技術を高め、伝え、広める庭師の技

事業計画 No.3-②-77、78、106 ③-39 / 評価区分 20、34



庭師の技を伝承！

長年培ってきた技能を**伝承**するため、庭園の枠を超えて研修を実施し、**高い技術力で庭園の維持向上**に努めました。人数制限などコロナ感染防止対策を施し実施。



他庭園職員も参加したソテツの霜よけ研修

伝統技能の発信

雪吊りなどの見学会を開催したほか、オンライン見学会をTwitterで7本発信、視聴件数18,000超。海外の方を含む**多くの方に伝統技能の理解**を深めていただきました。



2本は英語で作成し、より多くの方に発信



街中へ広げられ 庭師の技

視聴者が**自分で伝統技能を習得**できるようシュロ縄を使った技法のHow to動画を8本発信。庭師の技を街中、世界に広め、普及させるきっかけづくりを行いました。



庭師の仕事のみてみよう シュロ縄編

コロナ禍における戦略的広報活動

事業計画 No.3-② 6、65 / 評価区分 20



マイクロツーリズムの推進 エリア周遊構想

近隣約110施設に連携チラシなどを作成・配布、また「**点から線へ、線から面へ**」をキャッチコピーに周遊マップを作成しました。結果、弓道イベントでは近隣住民に多く（参加者の3割）ご参加いただきました。



周辺施設との連携チラシ作成
水上バスなども連携



近隣住民が多く参加

多面的な庭園情報を世界に向けて発信

アフターコロナを見据え、4か国語で花や管理状況の他、東京2020に向けた弓道の話など、**多面的な情報を発信して新しい層のフォロワーを獲得**、前年度から32%（4,786人→6,338人）増加しました。



古写真「庭園 今、昔」（英語）



維持管理状況をTwitter発信



小石川後楽園

所在地：文京区／開園面積：7.08ha
特別史跡・特別名勝



「お庭拝見」内庭から後楽園へ
往時の庭園観賞を追体験

令和に蘇る「唐門」～復元1周年記念行事の実施

事業計画 No.3-②-42、98、126 No.4-1-4、自-4 / 評価区分 19、33



東京都整備事業と 伝統技術の普及啓発

「唐門」復元1周年を記念し、専門家による基調講演、工事関係者による「扁額」の講演、パネル展示等を開催。密にならないよう工夫した講演会では、「後楽園」の真正性を示す重要な建築物の復元への理解を深め、都の整備事業と伝統技術についても知って頂く好機となりました。パーツ毎に複数年かけ、パネルで唐門を紹介します。



「扁額」に焦点を当てたパネル展示

「唐門」の価値を「体験」から伝える取組 内庭での雅楽公演、特別通門、記念スタンプ

かつて、大名家の行事には「雅楽」が共にあった、という専門家の助言も受け、初めて「内庭の中島」で雅楽の公演を開催。唐門を背景として、内庭に響く雅な調べと、美しい装束を纏った舞人が格調高く舞う様に、小石川後楽園ならではの厳粛な時間を共有いただきました。池の周囲360度から鑑賞できるため、約400名が密を回避して楽しられました。また、通常は閉ざされている「唐門」を1日限定で開門。利用者は往時の大名さながら唐門をくぐり、「江戸から京都へ」の旅を追体験。さらにオリジナルスタンプを製作し、専用台紙に押しつけて記念にお持ち帰りいただきました。唐門復元に伴い、6月から常時開門している東門の利用者は徐々に増え、利便性も向上しています。



演目は皇室や新築を寿ぐ「賀殿」



10時の開門を待って写真を撮る利用者

2代光圀公から9代斉昭公へ — 「梅」が繋ぐ江戸と水戸、『種梅記』書写体験

事業計画 No.3-②-8、No.4-自-2 / 評価区分 22



茨城県弘道館の文化資源『種梅記』を通じ、歴史的・文化的価値を共有

水戸藩9代藩主斉昭公が開設した藩校「弘道館」主任研究員を招き、『種梅記』書写体験を実施。「梅が繋ぐ江戸と水戸」をテーマとしたミニ講演会に続き、水戸でも未実施の『種梅記』を書写。石碑原寸大の拓本(弘道館に伝わる伝統技術「水戸拓」)の公開もあいまって、後楽園と水戸藩旧施設のつながりを歴史的・文化的側面からご理解いただきました。参加者からは「とても良い体験ができた。斉昭の人となりを知ることができた。」との感想をいただき、非常に満足度の高いイベントとなりました。



拓本と記念撮影



熱心に書写する参加者



後楽園を遊び尽くす！「新しい生活様式」に合わせたイベント展開

事業計画 No.3-②-7、9、77、87、88 No.4-イ-2、6 / 評価区分 19、20



リアルに体験する、 屋外での「伝統芸能」公演

コロナ禍で昨年度は断念した伝統芸能公演を松原で開催。「能楽」「雅楽」「里神楽」を感染症拡大防止対策を講じ、多くの利用者にご鑑賞いただきました。高い満足度の表れとしてサポーター基金は15万円以上集まり、今後への期待の大きさを強く受け止めました。



「松原」は最高の舞台装置

日々のTwitter配信で フォロワー11,500人超え！

休園期間中も含め、毎日Twitterを更新。夏に配信した「ハス」の花の開閉動画は5日間で再生数20,000回を超え、大きな反響を得ました。Twitterだけでなく、HPで「稲田」行事を年間を通じて紹介し、全8回の読み物として2,500ビューを数えました。



ハスの定点撮影のためカメラ設置

質の高い動画配信 花菖蒲・梅特別ガイド

ハナショウブ・ウメの見ごろの時期に休園となったため、特別ガイドの様子をYouTubeにて動画配信。Twitterでも開花状況を日々発信。特にウメは全品種を紹介だけでなく、光園公自作の和歌や万葉集を案内する等、後楽園ならではの文学的な楽しみも提供しました。



見ごろのハナショウブを前にガイド

きめ細やかな手入れによる「白糸の滝」「唐門」周辺景観の向上

事業計画 No.3-③-3、21、22、42 No.4-都-4 / 評価区分 35

都の整備事業を直営作業でレベルアップ

都の整備事業である「白糸の滝修復工事」完了後、周辺景観をさらに向上するため、庭園アドバイザーの助言を元に、補植計画を立案。複数年かけて整備するにあたり、落葉清掃、河床清掃等の基本的な維持管理を作業ボランティアと共に行い、次の段階への準備を進めました。また、ササの高さを抑え、大泉水の護岸がゆったりと望めるよう手入れを実施。当園の主要景観に欠かせない「水系」の維持管理として、大堰川等の定期的な清掃を継続し、休園中には水を抜いて汚泥の除去等も行いました。復元された「唐門」から望む「木曽路」の景に奥行き感を出すため、ササやシュロの手入れを行い、作庭意図に沿った景観の創出に努めました。「唐門」から「後楽園」に入庭した際の第一印象となる空間づくりを丁寧に継続していきます。



月2回の作業を継続実施



繊細な手入れで、より奥行き感を生み出す

休園期間を活用した園内補修と開園に向けた維持管理

事業計画 No.3-③-26、29、55 / 評価区分 2、3

安全・安心・快適な庭園散策のために

開園中には実施が困難な箇所、様々な補修を推進。庭門入口の二和土舗装、東門トイレの誘導表示や遮熱性塗装、涵徳亭内壁紙の補修等により、快適性を向上。景観に配慮し、案内板を更新。一方、休園中、利用者の踏圧がないことで園路に生えたコケを、タワシやブラシ等で除去、安全を確保しました。



踏圧がないことで生えたコケは滑りやすいため除去



六義園

所在地：文京区／開園面積：8.78ha
特別名勝



次世代に継承する庭園の価値を高める維持管理と魅力発信

庭園の本質的価値を高める取組 ～作庭意図の伝承に基づく八十八境の保存～

事業計画 No.3-③-2、21、23、46、48、52／評価区分 33、34、35

和歌や古地図から詠み解く景観の向上

保存活用計画に基づき、古地図と石柱名から作庭意図を読み解いて現状と課題などの維持管理計画を整理。これをふまえ園内各所の管理を行いました。白鷗橋周辺では、都工事に併せて一体的に支障木を処理し「山中の流れから河口(海)に出た時に月が見える“開けた景色”」の視点場を回復。老ヶ峯では「老若男女すべての人が和歌を詠む」にふさわしく、笹刈や実生木処理を行って和歌の浦と妹山・背山の稜線が見えるよう景観を改善しました。



「小舟を漕ぎ出でて月を見る」景とするため、伐採により河口部分の景観を回復



維持管理計画をエリア別整理表にまとめ、現地作業前に全員で再確認



古地図どおりの地割を見せる笹刈

誰よりも庭を知る「庭師」が解説する‘四季の魅力’と‘匠の技’を世界に発信

事業計画 No.3-②-73、78、88、No.4-イ-1、3、8／評価区分 20

庭師が伝える江戸伝統園芸と伝統技能の魅力

Twitterでは連日の四季折々の美しい風景や庭師目線の解説が好評を博し、フォロワー数が年間3,902人増加(前年比128%)しました。また、維持管理の高い技術力を活かした他に類を見ない解説動画を庭師自ら作成、YouTubeで「庭さんぽ」や「伝統技能見学会」として公開し、対面式見学会では伝えきれない細やかな匠の技を広く披露しました。動画解説には英語を併記し、より多くの方に園の魅力を伝え、新規ファンの獲得と維持管理の重要さや伝統技能への理解を深めました。



植物の管理技術や庭の見どころなど全編を庭師目線でナレーションし、視聴者に「画期的な動画」と賞賛を頂く。休園中の花々の美しさも好評



日々移ろう庭園の情景をTwitterでリアルタイムに発信



都民協働による「八十八境」の保存・活用に繋がる様々な取組



事業計画 No.3-②-66、77 / 評価区分 21

和歌の作庭意図を具体的に想像・体感！

造園系大学と連携し、剪定技術と八十八境について職員から講義の後、実習で**八十八境の石柱**を出現させました。指導教員から「大変教育効果の高い実習及び講義」と好評を頂き、**互恵的取組**で園内整備と作庭意図の啓発に繋がりました。また、ガイドボランティアとの協働により園の特色である八十八境の石柱を紹介する散策マップや樹木冊子を新規作成しました。園の歴史資源等の解説で**来園者の観賞体験を深める**とともに、今後のガイドの質の向上に繋がりました。



実生木処理の実習によって「白鳥関」の石柱や階段が可視化



コロナ禍でも安心して使える新たなセルフガイドマップ

コロナ禍における文化財庭園の魅力と価値の普及啓発



事業計画 No.3-②-10、43、68、No.4-イ-7、10 / 評価区分 19

次世代を担う子どもたちに積極的アプローチ

コロナ禍では大人数での園内見学が難しいため、伝統園芸等の出張実習や、紅葉見ごろ予測の計算・動植物紹介等の学習プログラムを庭園から学校に提案して出張講座を行い、**若年層に庭園への愛着を醸成**しました。(延べ 令和2年度35団体→令和3年度70団体受入れ)

来園者目線で時代を超えた園の魅力をアピール

感染症拡大防止に配慮しつつ「私の八十八景」と題した来園者の思い出写真展を公募初開催しました。六義園の四季折々の絶景や、家族・友人と過ごした記念などの写真が集まり、観覧者からの好意的な反響もいただき**庭園の魅力発信**および**歴史的資料の発見と蓄積**に繋がりました。



実習で変化朝顔の竹行灯作成



小中学校で、園の歴史を解説



思い出に浸る観覧者



幻の橋「鯉来い橋」等の写真も発信

関係団体連携による安全・価値・魅力アップ・防災の推進



事業計画 No.3-②-12、No.3-③-21 / 評価区分 30、32

維持管理の連携

都の橋梁補強工事(千鳥橋・白鷗橋)の情報交換を緊密に行い、より安全性を高めるための施工資材や仮設資材の再利用、迂回路等について**積極的な提案・協力**により円滑な事業執行を支え、**苦情ゼロ**を達成しました。また、新潟県と共同で貴重なツツジの品種を挿し木で保存し、江戸伝統園芸の保存と普及に貢献しました。

魅力アップの連携

文京区観光ガイドに対し初めて六義園の講習を実施。また、区内の博物館や他の庭園と連携したパネル展を実施しました。そのほか、**文京区経済課**や**商店街連合組合**・**地元の飲食店**と**地域活性化**に向けて**イベント準備を進めました**。コロナ禍でイベントは中止となりましたが、次年度開催に向けた関係を構築しました。

防災の連携

駒込警察警備課や都と協定を結んだ造園業者と連携しての震災対応訓練や、機動隊と連携した実践的なテロ対策訓練を初めて実施しました。また、本郷消防署と消防キャンペーンを初めて実施し、江戸から令和にかけての六義園の災害・防災に関する展示やパンフレットを作成し、地域の防災力向上に寄与しました。





旧岩崎邸庭園

所在地：台東区／開園面積：1.82ha
重要文化財

広がる、まもる、魅せる
重要文化財旧岩崎邸庭園



文化財庭園の新たな活用による利活用の拡大、高まる魅力

事業計画 No.3-②-13、47、105 No.4-自-3、4、8／評価区分 19

明治の邸宅で魅せる「江戸東京リシンク展」

産業労働局主催の「江戸東京リシンク展」内で、旧岩崎邸庭園の建築技術や江戸東京の工芸品を知っていただく展示を実施しました。歴史ある文化財庭園と東京の優れた伝統が合わさり、多様な魅力の発信機会となり、新たな利用者層の拡大を図ることができました。



イベントキービジュアル



メディア向け内覧会

新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインでの開催に切り替え、実施しました。



現代美術家_館鼻則孝と伝統産業事業者のコラボ作品
Photo by GION

重要文化財を活用「館内撮影パッケージ販売」

文化財の利活用拡充策として、以前より要望の高い館内での人物撮影を受け入れる「館内撮影パッケージ販売」を新規導入しました。



華麗な洋館と初々しい新郎新婦

まもる！利用者の安全と重要文化財を守る取組

事業計画 No.3-②-15、③-6、21／評価区分 13、32、33



「建築125年記念」感染防止×楽しむ＝文化財の理解度向上

「旧岩崎邸建築125年・文化財指定60年」を記念し、講師による特別ガイドや岩崎家の時代まつわる映像を作成・上映しました。映像はソーシャルディスタンスに配慮し、すべて3分程度のミニ動画にまとめ、上映しました。上映場所ごとにゆかりのある映像や国立小山高等高専・河東名誉教授によるガイド映像により、楽しみながら自然に利用者の腑に落ちる、説得力のある情報を提供することができました。岩崎久彌の下で発展した小岩井農場130年を記念し、小岩井農牧(株)と連携し画像作成、限定土産品販売と茶菓の提供によりイベントを盛り上げました。



映像を熱心に眺める利用者



まもる！利用者の安全と重要文化財を守る取組



事業計画 No.3-②-15、③-6、21／評価区分 13、32、33

継続を力に変える防火朝礼

首里城の火災事故を機に、職員の防火意識とスキル向上を目的に導入した防火朝礼。令和3年度はこれまでに蓄積した知識を基に、各回ごとに担当者を変え、クイズ形式や対応の速さを競う等、モチベーションを上げながら、**可燃性の高い木造建築である旧岩崎邸を管理する上で重要な初期消火への対応力を向上させ、有事の備えを強化しました。**



毎月の防火朝礼と自衛消防訓練の様子

利用者の安全安心快適な観賞環境を守る

～東京都工事「芝庭復元工事」をサポート～

令和3年度いっぱい行われた「芝庭復元工事」を円滑に進めるため、**ホームページやツイッターで工事の状況を情報提供、窓口でのポストカード配布や職員による丁寧な説明により、苦情を最小限にとどめることができました。**また、ヒマラヤスギの巨木を3本伐採するにあたっては、安全安心快適な観賞環境を確保する観点から、東京都との連携により伐採期間中休園対応とすることができました。



高さ30mの3本のヒマラヤスギ

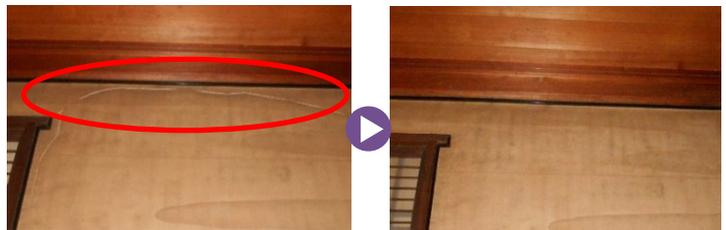


魅せる！維持管理による景観向上の取組

事業計画 No.3-③-26／評価区分 35

オリジナルの描き絵を保護しながら修復

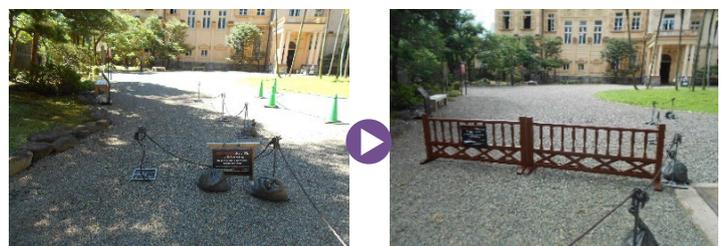
令和3年度は例年以上に厳しい寒さと乾燥が影響して、和館入側の貼り付け壁がひび割れを起こしたため、**関係各所と協議を行い、専門技術を持つ職人に依頼し修復。**ややくすんでいた描き絵の全体の汚れを落とすことにより、**描き絵の美しさが蘇り、重要文化財の美観を維持することができました。**



職人の技術により、大きなひび割れを傷のないきれいな状態に補修

洋館階段をイメージした人止め柵

予約システム導入に係るサインの更新に合わせ、売札所前の人止め柵を更新。洋館の階段をイメージしたデザインとし、**入園前の利用者に対し洋館の凝った意匠を予感させるとともに、木製の重厚な作りが隣接する国立近現代建築資料館への素通りを効果的に阻止することができました。**



簡易なロープ柵からデザイン性の高い重厚な人止め柵に更新



向島百花園

所在地：墨田区／開園面積：1.08ha
名勝・史跡



江戸の町人文化・園芸文化 200年の歴史と伝統の継承

向島地区の地場産業であった「江戸園芸文化」を継承

事業計画 No.3-②-17、18、71、122 ③-49 No.4-イ-4 / 評価区分 19



江戸の園芸文化を今に伝える「大輪朝顔展・変化朝顔展」

コロナ禍で先行きが見えない中、連携団体も活動ができず開催が危ぶまれましたが、庭園からの熱心で細やかな働きかけにより、希少な園芸種を含む「大輪朝顔展」を開催することができ、江戸園芸文化としての大輪朝顔を継承することができました。また、今年度は期間を50日間延長し、都立農産高校と連携した「変化朝顔展」も連続開催しました。

コロナ禍で幡種時に部活動の中止が続きましたが、生徒達の努力と高校の温室設備等を駆使して見事に挽回することができました。直営でも1/16以下の発生率で栽培が難しい変化朝顔40鉢を育成。浮世絵を基に朝顔売りの天秤や大籠等も制作し、情緒溢れる見事な展示となりました。



「団十郎」や「弁慶」等の希少種もそろった大輪朝顔展



浮世絵に描かれた朝顔売りの天秤と朝顔の大籠

伝統行事の炎を守ろう、今できる限りのことを続けよう

事業計画 No.3-②-16、18、53、88 No.4-イ-5、6 / 評価区分 20



地域の伝統行事を担う庭園として、地域と共に今できる限りの継続を行う

コロナ禍により「虫ぎきの会」や「月見の会」といった伝統行事が中止となる中、地域の関係団体の強い後押しもあり、園内35カ所で絵行灯やお供え台の設置、鈴虫の展示等により江戸の情緒を感じられる園内の演出を行うことができました。

伝統行事である「お供え式」を関係者のみで実施。伝統行事を絶やさず継続することができました。「お供え式」の様子は動画で撮影し、YouTubeやTwitterで配信。合計31,400件を越す閲覧数となり、若年層をはじめ多くの方に伝統行事を知って頂きました。



絵行灯には1枚1枚異なる俳句と俳画が描かれている



お供え台の様子とお供え式を彩った篠笛と箏の演奏



メディアミックスによる情報発信

事業計画 No.3-②-53、85、87、88 No.4-イ-4、6、7、8、11 / 評価区分 20



地域のフリーペーパーからYouTubeまで多様な媒体を利用

中吊り広告等の大々的な広報が困難な中、地域のフリーペーパーや生涯学習センターの会報誌、YouTubeやTwitterなど、様々な媒体を利用して、新しい層に伝統行事や園芸文化を知っていただく機会を創出しました。また、Twitterのフォロワー数は今年度4月から4,240人以上増加し、9,740人を超え、庭園ファンを大幅に増やすことができました。



お供え式とお月見を掲載したTwitter

地域と共にある庭園として

事業計画 No.3-②-18、53、122 No.4-イ-4、6、11 / 評価区分 30



地域と共に行う向島百花園のイベント

向島百花園の行事は、本来地域に根づいた町人文化であるため、様々な近隣施設との連携を強化しました。「大輪朝顔展」や「月見の会」と同時期に、近隣図書館で関連書籍と共に朝顔や秋の七草を展示しました。百花園発祥の春の七草籠は、東京ソラマチ内の観光案内所等の施設3か所に展示。多くの方に百花園の伝統文化をPRしました。また、墨田区の無形文化財「隅田川七福神めぐり」にも協力。地域の活性化に寄与しました。



近隣図書館での朝顔園芸文化コーナー

池景観向上のための水質改善及び水生植物の植栽強化

事業計画 No.3-③-23 / 評価区分 2



池の状態や設備の実態把握を踏まえた池の水質・景観改善を実施

顧客満足度調査等で要望の多い池の水質・景観改善を行いました。調査した結果、既存のばっ気設備が池に使用するものとしては不適切であること、池底に影響を及ぼす恐れがあることが分かりました。このため、新仕様のばっ気設備の設置及び池底補修を行いました。また、井水の流量調節をすることで臭気を改善することができました。ばっ気設備更新により微細泡による酸素溶解効率が上昇し水中酸素量が向上したほか、休園期間を活用した池干しでリン等の不活性化による水質改善が出来ました。また、史資料を基にした水生植物補植により池景観の向上となりました。特に希少なオニバス等は大変好評を得ました。



保存活用計画に基づいた樹木管理

事業計画 No.3-③-46 / 評価区分 35

寿星梅補植に向けた整備及び、形姿不良樹木の更新

向島百花園の名木「寿星梅」復元計画として、今年度は候補木である白滝枝垂れの根回し及び移植場所の干渉樹木伐採を行い、次年度の補植に備えました。また、保存活用計画に基づき、老齢で形姿不良のソメイヨシノをヤマザクラに更新したことで、水辺から疎林にかかる景観向上を図ることができました。





清澄庭園

所在地：江東区／開園面積：8.10ha
都指定名勝



地域とともに社会貢献を推進！ 庭園からのSDGs発信

地域・社会への貢献力を発揮

事業計画 No.3-②-21、67、94、128、③-12 / 評価区分 30



「アートパラ深川」開催

コシノジュンコ氏も参加した開催セレモニーや、假屋崎省吾氏のコラボ作品の展示、障害のある方のアート作品30点の展示を行いました。**SDGs達成に繋がったほか、地域を代表する施設としての責務を果たし、地域・社会に大きく貢献しました。**



假屋崎氏とのコラボ展示を見学する作者

コロナ禍の「防災訓練」

感染症対策のため、大規模開催が困難となった防災訓練は、要望のあった教育施設に個別ヒアリングを行い、所管の消防署と調整し実施しました。園児や教諭に地震体験や消火訓練を行い、地域の防災意識向上に寄与しました。



起震車で地震体験

第一回近隣施設連絡会開催

清澄庭園の発案で始まった施設間相互割引に続き、**近隣施設間の情報交換の場と連携強化を目的にした「近隣施設連絡会」の発足を主導。**相互の更なる協力関係強化やイベントの発案など、情報交換と意志共有を図りました。



深川江戸資料館など近隣文化施設が集合

SDGsを意識した庭園の魅力と日本文化のPR

事業計画 No.3-②-71、88、100、107、③-20 No.4-自-1、4 / 評価区分 19



「ふろしき包み体験」

現代のSDGsに繋がる側面を持つ、奈良時代より使い継がれてきた日本の伝統文化「ふろしき」。感染症対策のため、対面式講習会は避け、涼亭での会場展示と手順の説明動画を作成。**オリパラ期間に合わせて実施し、日本文化の普及・啓発と機運醸成を図りました。**



前期（左・夏）後期（右・初秋）で季節感を演出した展示

史上初、涼亭上がり框にスロープ設置

縁側にテーブルを出し、靴のまま上がった史実から着想し企画。**段差を上がることが難しい利用者やベビーカー・車椅子の利用者なども自由に参加ができる機会を創出。**庭園を一望できる涼亭からの眺めを多くの方に楽しんでいただきました。



茶屋入口のスロープ



景色を楽しむ利用者



庭園観賞の魅力向上を図る修復と改善

事業計画 No.3-③-23、49、55 / 評価区分 34、35

富士山の景観を修復する取組

平成23年度から長期計画で取り組んでいる富士山の景観改善を保存管理計画に基づいて実施。富士山の稜線を際立たせるよう、継続的に高木の伐採を実施。併せて、崩落が懸念された山頂の黒ボク石の積み直しや、芝生の修復を行うことで、**当園の象徴である「富士山」の存在感を高め、作庭意図が効果的に現れた景観**を来園者に楽しんでいただけるようになりました。



花菖蒲の生育環境や観賞動線を改善する取組

保存管理計画に基づき平成31年度から取り組んできた花菖蒲の観賞動線と日照条件の改善の取組みは、今年度は**日照を阻害する高木と、観賞動線の支障となっていた低木の撤去**を行いました。また、花菖蒲の見ごろに合わせて設置していた仮設ロープ柵に代わり、**デザインを統一した常設ロープ柵を設置**することで、景観の統一と来園者の安全確保を図ることができました。



新しい日常へ細やかな対応策

事業計画 No.3-②-72、77、78、88、③-13、30 No.4-1-3 / 評価区分 13、19、20

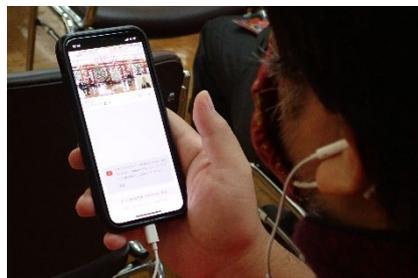
安全・安心への環境づくり

感染症対策における、入園時の検温器設置の工夫、案内放送用の開放公園への案内用放送設備の迅速な設置等を行いました。また、夏期の熱中症対策も怠らず、安全・安心にご来園いただける環境を追求し続けました。



施設利用環境の向上

Web会議や移動制限下での遠隔地通信など、コロナ禍におけるオンライン活用の増加を鑑みて、大正記念館の課題の一つであった**Wi-Fi設備を初めて整備**。世相に合わせた利用者サービスの向上に繋げることができました。



多様なツールを活用したPR

休園期間を含め、維持管理についての動画を配信し、効果的な情報発信ができました。また、**デジタルサイネージの活用や模型資料展示など、多様なツールで維持管理のPRや日本文化の普及・啓発を強化**しました。





旧古河庭園

所在地：北区／開園面積：3.07ha
名勝



コロナ禍でも楽しめる
安心・安全な美しい庭園の提供

徹底した感染症対策と安心して来園できる庭園の魅力発信

事業計画 No.3-②-23、73、78、83、85、87、88、89 / 評価区分 19、20、32



ライトアップドローン動画撮影



説明パネルを利用してイベント開催



事前予約確認員とレジ・券売機誘導員配置

大型イベントは中止し、安全な運営を確立することで成功した集客

事前予約システムやカメラカウンターでの園内滞留者数把握による入園規制のほか、混雑時には職員が動線の延長やレジ・券売機への誘導を行い、繁忙期においてもほぼ滞留や待ち時間もなく入園することができました。園内でも掲示や自主警備配置により密を回避することで、11～12月の入園者数はコロナ禍前と同等の55,445人（H31年度比：97%）と、安心して裏付けされた集客を図ることに成功しました。

接触を避けたツールを活用、コロナ禍に対応する庭園の普及啓発

イベントのオンライン化やパネル等の運用で、満足度とともに庭園の魅力向上に努めました。今年度導入したレジ・券売機ではキャッシュレス決済を拡張し、使用率は今年度入園者数の約3割（昨年度：1.1%）となり、安全性とともに利便性を大きく向上させました。また、9庭園初の試みで春バラのドローン動画を配信したところ、再生数は約3万回と効果的に庭園の魅力発信を行うことができました。



Twitterのフォロワー数は9庭園で唯一2万人を超えた



紅葉期日本庭園の中継

休園中の園内情報発信から開園時の集客に繋げた広報活動

発信力の高さから若年層の利用が増加し、10～12月の64歳以下入園者数は47,334人（H31：46,072人、R2：45,984人）と増加傾向にあります。休園中の維持管理の取組や庭園の魅力を積極的にPRすることで12月の入園者数は前年から約2倍に増え、大きな成果を上げることができました。



休園期間を積極的に活用した庭園の本質的価値向上の取組

事業計画 No.3-③-21、23、48、49、53/評価区分 12、15、34、35

往時の景観を取り戻すため、中長期的に実施している日本庭園修景の取組

池泉回遊式庭園の核となる中島の護岸石を据え直し、芝生を植え替え、土砂流出箇所の補修を行いました。池周りに石の表情を見せ、芝を新しくすることで中島全体が整然とした印象となり、日本庭園全体の大幅な魅力向上に繋がりました。これまで取り組んできた維持管理から前述した報道中継等の申込が増え、**当園における日本庭園の存在感や価値を高めています**。また、大滝では予防的な漏水防止措置や水質浄化設備の改良を行いました。滝の音が対岸の枯滝に届く仕組みとなっているため、**音の風景も含めた池景観や水質の維持**に努めています。



据え直し前



据え直し後

経年や雨等で池に沈んでいた護岸石組を据え直し、数年かけて取り組んだ中島修景が完成

作庭意図に基づく洋風庭園の維持管理

平成28年度より段階的に取り組んでいるバラ園生垣更新がすべて完了しました。肥大していた生垣の高さ、太さが低く細くなることで**洋館やバラとの調和、洋風庭園の直線やシンメトリーが強調され、J.コンドルの目指した本来の景観に近づけました**。この生垣のもと、さらに作庭意図に則った維持管理を推進していきます。

これらの利用者が多く通るバラ園や危険を伴う工事は、**休園期間を活用して影響を最小限に**しました。



サワラおよびカイヅカイブキの生垣更新(植替え)を実施
春バラ前に生垣を刈り込み、かつての整然とした景を取り戻す



通常は来園者への安全管理徹底を要する傾斜地危険木の伐採

区や近隣施設と連携した地域活性化の取組継続

事業計画 No.3-②-59、67、89、95/評価区分 5、30



北区成人式フォトスポット

北区の看板施設として地域連携の中心的存在に

今年初めて北区と連携して成人式のフォトスポットを提供し、地域の名所として大きな存在感を示しました。更に紅葉期の六義園と「園結びチケット」の販促を積極的に行い、11月・12月の利用は前年比222%と大幅に増加し、両庭園の待機列解消とともに近隣施設へ還元することに大きく貢献しました。



殿ヶ谷戸庭園

所在地：国分寺市／開園面積：2.1ha／名勝

武蔵野の多様な地形を 巧みに庭園景観に取り込んだ 近代別荘庭園



国指定名勝10周年記念イベント開催 —コロナ禍でも楽しめるコンテンツの提供

事業計画 No.3-②-102 No.4-自-2／評価区分 22



庭の見方が変わる！パネル展の開催 ～庭園維持管理の手法と取組成果を紹介～

『東京都における文化財の保存活用計画』に示された管理目標を指針として、殿ヶ谷戸庭園が持つ本質的な魅力をより引き立てるために、段丘崖の傾斜を際立たせる手入れ方法や、潜在する植物資源の調査・保護・実物展示による活用の取組なども展示これまで取り組んできた維持管理の手法をパネルにして紹介しました。

「大芝生」の広がりを取り戻す I ロープ柵の仕様を変える

往時の姿にできるだけ近づけるため、景観への影響を最小限に抑えた工務物に変更する

課題点
主要動線に沿って大芝生にまでかつては敷設されていたロープ柵は、近年の経年劣化により、一部が破損・倒壊している。また、柵の高さが低く、景観への影響が大きい。また、柵の材質がプラスチック製であり、景観との調和がとれていない。

改善策・結果
この改善策は、柵の高さを従来の高さから1.5m程度に引き上げ、材質を天然素材のロープに変更した。また、柵の色を芝生と調和させるように調整した。結果として、柵の耐用年数が延び、景観への影響が軽減された。また、柵の高さを上げることで、大芝生の広がりを取り戻すことができた。



日々の手入れによって引き立っている、『視点場（景観ポイント）』をMAP上に示し、その見方を写真と共に紹介

↑景観への影響を最小限に抑えながら、往時の姿に近づけるための課題と、ロープ柵の高さの改善など、実施した対応策を紹介

- パネル展会場ではアンケートを実施。「段丘の特徴を見せるために細かい配慮をされていることがよく伝わった。見てよかった」「取組と共に庭園の観賞ポイントも伝わる展示でした。もう一回りしてみたいです。よい展示をありがとうございました」など自由記入欄に回答された**94.4%の方から好評を頂きました。**

庭の歴史がわかる！動画のWEB配信 ～専門家による講座とドローン撮影による園内風景～

殿ヶ谷戸庭園が成立した背景をテーマに2名の有識者による講義を映像化。展示会場と YouTubeで配信。



江口家別邸の庭

講座①
殿ヶ谷戸庭園（随宜園）
-大正・昭和の武蔵野の別荘—
亀山章氏（東京農工大名誉教授）

講座②
国分寺崖線と人々の生活
中道 誠氏（国分寺市教育委員会教育部
ふるさと文化財課）



③ ドローンによる庭園景観

動画を見た方が「殿ヶ谷戸庭園について、ちょっと知識を得て得した気分になる」をコンセプトに製作。講座のほかに、ドローンで撮影した普段は見ることができない上空からの庭園風景や、古写真なども映像化しました。

- インターネット配信では公開から半月で211件の動画再生をいただくなど、広く当園の情報を提供し、殿ヶ谷戸庭園の魅力発信力向上に寄与することができました。



庭園景観の向上を目的とした継続的な植栽管理

事業計画 No.3-③-23 / 評価区分 35

作庭意図を熟考の上、行ってきた灌木の手入れ

庭園の景観を印象付ける最初の視点場として、芝生地を広々と見せる**作庭意図**に従い、**2015年より植物生態を鑑みた複数年にわたるこまやかな作業計画を立て、実行してきました。**今年度は芝生地に隣接し視線の通りを妨げていた灌木の切り戻しを実施。**奥行を感じ、視線が通る広々とした芝生空間に改善することができました。**



庭園工作物に工夫を凝らすことで景観向上を図る取り組み

事業計画 No.3-③-55 / 評価区分 34

庭園景観を彩る工作物

ハギのトンネルでは**向島百花園と技術交換**を行い、加工台を使って立子を曲げる工法を取り入れ、**歪みの無い美しいアーチ構造のトンネル柵**にすることが出来ました。また、藤棚では、一回り細い天然ヒノキ剥き丸太を使用することで、より**景観になじむ優美な姿の藤棚**にすることができました。



庭園エントランスと建物の美観向上を図る補修作業

事業計画 No.3-③-26、54

庭園景観を整えて国指定名勝10周年を迎える

国名勝指定から10年目にあたる節目の年に、景観の一部である建物の塗装や洗浄および木部補修を重点的に施し、**美観が向上した庭園景観と風格のあるエントランスで利用者をお迎え**できるようになりました。また歴史建造物の長期維持を視野に入れ、紅葉亭屋根下の銅板補修も行いました。



アフターコロナを見据え、「殿ヶ谷戸庭園」を知ってもらう取り組み

事業計画 No.3-②-78、88 No.4-イ-4、7 / 評価区分 19、20



Webを使った企画で、おうち時間に庭園を体験できる、新しい庭園の楽しみ方を提案

問題



回答



クイズに答えると殿ヶ谷戸庭園の地形や歴史などの知識が深まるプログラムをTwitterで「#クイズで学ぶ殿ヶ谷戸庭園」としてシリーズ化。雪吊り設置など伝統技能による一連の作業も動画配信し、コロナ禍でも庭園を体験できる企画として提供、合計7,104件のご利用(アクセス)を得ました。Twitterでは伝統

技能や園内の自然・動植物なども連日発信。フォロワー数は1年で約3,400名から4,500名に増加しました。